

## 主な活動の紹介



桜木フェスタには周陽中学校の生徒が、周陽夏まつりには周陽小学校と周陽中学校の児童生徒が、それぞれボランティアスタッフとして参加しています。地域の既存の活動に多くの住民や子どもが参加することで、地域活動が盛り上がっています。

また、周陽小学校の総合学習や遠石小学校のしめ縄づくりでは、地域住民が児童の学習支援を行っており、子どもたちは生き生きと学習しています。

このように校区内の小・中学校では、学校運営協議会が立ち上がったことを契機に、地域との連携を更に強めながら教育内容を充実させています。

### 小中連携の取組み

- 周陽中学校区小中連携教育協議会では、学期に1回程度、関係者で情報交換を行っています。
  - ・児童生徒の学習の充実及び学力の向上に関すること
  - ・生活指導や進路指導に関すること
  - ・学校運営上の課題について
  - ・家庭、地域との連携に関すること
  - ・教職員の研修について
- 各小学校へ周陽中学校教員が訪問して出前授業を行っています。（各学期）

## 成果と課題

本年度、各校に学校運営協議会が設置されたことで、学校と地域との連携が進んでいます。小中連携教育協議会によって築かれたつながりが「地域協育ネット協議会」の学校間連携を支えているといえますが、現状では連携の範囲が教職員を中心とした部分に留まり、地域への広がりには課題が残されています。今後、地域ぐるみで子どもたちの育ちや学びを見守り、支援していくために、学校間連携の中に地域からの新たな支援を加えていくことが必要です。

## 今後の取組

遠石小学校の児童の進学先は、周陽中学校と岐陽中学校があり、卒業後は中学校区で地域が分かれるという実情があります。そこで、両中学校区のつながりをつくっていくための一策として、今年度、周陽中学校区小中連携教育協議会の第3回会議を、岐陽中学校区小中連携教育協議会と合同で開催しました。こうした取組により、隣接する中学校区に地域協育ネットのネットワークが広がっていく可能性がでてきています。

今後、周陽中学校区各校の学校運営協議会では、地域に支援を求める必要がある活動が進んでいくと思われます。そのためには、「つなぎ役」としての地域連携担当教員と校外コーディネーターの位置付けを明確にし、これまで以上に中学校区内のコーディネーター間で情報交換を行い、連携を更に強めていくことが大切になります。小さなうねりを次第に大きなうねりへと変えていくことができるように、広げられるところから順次、しっかりと進めていこうと考えています。